

美里さつき保育園の閉園について

1 経過

(1) 閉園の申出

令和5年6月26日（月）、美里さつき保育園（津市美里町五百野1617-1）を運営する社会福祉法人ライト（本部：愛知県岡崎市）（以下「法人」といいます。）から津市健康福祉部子育て推進課に対して、法人経営の影響により、同月30日（金）をもって美里さつき保育園を閉園せざるを得ない旨の申出がありました。

(2) 閉園の理由等

法人は本市内及び他市で保育所やその他社会福祉施設を複数運営していますが、法人全体の経営状況の悪化に伴い、美里さつき保育園において同年7月以降の保育提供体制が整わないことから、美里さつき保育園の運営に関し、継続困難と判断されたものです。

なお、本市においては、同年6月26日（月）に、法人から当該申出があったことから、美里さつき保育園の認可権者である三重県に対し当該内容を直ちに報告するとともに、法人の所轄庁である愛知県に対しても当該内容について直ちに情報提供を行いました。

(3) 保護者への説明

美里さつき保育園は、同月28日（水）に緊急保護者説明会を開催し、法人の理事長及び園長から保護者に対して閉園に係る説明を行いました。

（参考）

美里さつき保育園の利用者数（令和5年6月30日現在）

利用定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
70人	3人	10人	12人	10人	11人	12人	58人

2 本市の対応

令和5年6月30日（金）現在で、美里さつき保育園に在園していた児童58人（全44世帯）については、緊急の対応として、施設規模に余裕のある津市立白山こども園（以下「白山こども園」といいます。）で同年7月3日（月）から、当該児童全員を一括で受入れできるよう調整を行い、新たな受入先の確保ができるまで、継続して受入れを行うことを緊急保護者説明会

において説明した上で、保護者に対し利用希望施設の意向確認を行いました。

その結果、幼稚園の利用を希望した1人を除く57人（全43世帯）の児童の保護者が、白山こども園での受入れを希望したことから、同月1日（土）に、当該保護者及び児童並びに旧美里さつき保育園から白山こども園に新たに迎える職員に対しオリエンテーションを行いました。

オリエンテーションには、全43世帯中42世帯の保護者及び児童並びに白山こども園で新たに勤務する旧美里さつき保育園職員13人が参加され、白山こども園の施設案内を行うとともに、利用又は勤務するに当たっての連絡事項の確認及び白山こども園の園長、副園長及び主任との顔合わせを行いました。

なお、白山こども園の利用は、同月3日（月）から開始しており、幼稚園の利用を希望された保護者の児童についても、同日から津市立みさと幼稚園で利用を開始しています。

白山こども園における児童の受入れに当たっては、児童の保育環境の変化を可能な限り緩和するため、0歳児については、白山こども園の0歳児クラスに編入し、1～5歳児については、旧美里さつき保育園の園児のみのクラスを新たに編成し、旧美里さつき保育園の保育士11人を本市が会計年度任用職員として任用した上で、旧美里さつき保育園の全児童を担当しています。

また、受入児童の送迎については、津市美里総合支所と白山こども園の間で新たに送迎バスを運行しており、11人の児童が利用されています。

なお、白山こども園の利用開始日となる同月3日（月）には、子育て推進課保育所担当副参事が、同園にて終日、新たに利用を開始する児童を見守っていましたが、新たな環境に若干の戸惑いを見せる児童がいたものの、概ね良好な保育が提供されていたことを確認しています。

3 今後の対応

本市内の私立保育所等に対しても、児童の受入れに係る協力を要請しており、可能な限り保護者の意向に沿った利用が行えるよう調整を進めています。43世帯の保護者に対する利用希望施設の意向は既に確認しており、うち22世帯（26人）が転園を希望していることから、毎月、当該保護者の意向に基づいた利用調整を行います。

なお、現在、令和5年7月15日付けでの利用調整を行っており、利用調整が可能となった児童については、早ければ同日から転園できる状況です。

放課後児童クラブ「美里さつき保育園じゃがいもクラブ」の閉所 について

1 経過

(1) 閉所の申出

令和5年6月26日（月）、放課後児童クラブ「美里さつき保育園じゃがいもクラブ（津市美里町五百野1617-1）（以下「じゃがいもクラブ」といいます。）」を運営する社会福祉法人ライト（本部：愛知県岡崎市）（以下「法人」といいます。）から津市教育委員会事務局生涯学習課に対して、法人経営の影響により、同月30日（金）をもってじゃがいもクラブを閉所せざるを得ない旨の申出がありました。

(2) 閉所の理由

法人は本市内及び他市で保育所やその他社会福祉施設を複数運営していますが、法人全体の経営状況の悪化に伴い、じゃがいもクラブにおいて同年7月以降の保育提供体制が整わないことから、じゃがいもクラブの運営に関し、継続困難と判断されたものです。

(3) 保護者への説明

じゃがいもクラブは、同年6月28日（水）に緊急保護者説明会を開催し、代表者から保護者に対して閉所に係る説明を行いました。

（参考）

じゃがいもクラブの利用者数（令和5年6月30日現在）

利用定員	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
36人	3人	5人	4人	1人	1人	14人

2 現在の対応状況

緊急保護者説明会の開催後、保護者から本市に対して児童の受入れに係る相談等があり、本市内の民設民営の放課後児童クラブを紹介したところ希望者がなかったことから、緊急の対応として、令和5年7月3日（月）から旧じゃがいもクラブの利用児童のうち希望する児童に対し、放課後の居場所として津市立みさとの丘学園の図書室等を開放しています。

津市立みさとの丘学園における児童の受入れに当たっては、児童の環境の変化を可能な限り緩和するため、旧じゃがいもクラブの支援員1人を会計年

度任用職員として任用するとともに、津市青少年センターの相談員及びボランティアの方で見守りを行っています。

3 今後の対応

旧じゃがいもクラブの利用児童の新たな受入先については、美里地区の放課後子供教室での対応や公設民営の放課後児童クラブの設立等に関し、保護者や地域住民等と協議を行っており、当該児童の受入先の早期確保に努めます。